

ヘップバーンに恋して

×× 王様と神様 ××

「かみ」という発音の文字は、髪・神・紙・上・内儀・守など沢山あります。どれも人類にとつて、とても大切な意味を含む文字なのです。

紙（パピルス）が歴史を綴ってくれた時代。髪が人の命の代わりに扱われた時代。それぞれに思いの深い字の作りなのです。

さて、お客様を神様です！なんて言っていた時期がありますが、お客様は神様なのでしょうか？

接客する現場では、さまざまなクレームが起こります。オーダーより短いとか、カラーの染まりが悪いとか、そんなことが起こらないように今は、カウンセリングの技術も上がり、ヘアスタイルブックがアイパッドや携帯電話で確認できるようにな

様から、今日は先生が楽しい話をしてくれなかった。損した気分だったと。以来、体調を万全にしながら付けて頑張っております。

六条の御息所か、ヴォバリー夫人か、はたまた裸の王様か、と面白い方もたくさんおります。

しかしおり返って私たちが、心が癒される方もおります。ある朝、店の入り口のドアを開けようとしたところ、外にお客様が、待ちぼうけておりました。「おはようございます」「お早う先生、これ今もぎってきたんだよ。」と、両手に野菜の袋を下げていらっしやいました。感激ですよ。自分のために、朝早くに畑に出て、美容室の先生やスタッフに食べさせてあげようとしてくれたんですね。そういうお客様がたくさんいると他の美容室の先生からも伺うことがあります。元気なお顔を見せて頂くことで充分です。毎日、毎日が出会いです。毎日が新しく新鮮です。今日を楽しく、精いっぱいのお仕事をさせて頂ける事が、お客様の幸せ

りましたので、互いに分かり合えて、良いスタイルが生まれます。それでもクレームが起きた場合は丁寧に無料で、お直しいたしております。

しかし、世の中は何が起こるかわかりません。予想も出来ないクレームとは？

一、本人が気に入って帰ったのに、旦那様がパーマスタイルが嫌いだから、やり直せ！

二、コスプレ好きな女の子が、とてもきれいなピンクヘアにして帰ったら、お母さまから、私は許さないから黒色にして！と。娘さんは28歳。

三、この間染めたのに、一週間したら、髪の毛の根元が2ミリ白くなっている、染まっていなかったのでは？

こんなこともありました、私が風邪気味で声が出なくなかった時に、お帰りになったお客

につながると多くの美容師は思い、生きているでしょう。

仏教の言葉に、顔施（がんせ）という言葉があります。お客様とお顔を合わせた瞬間に、笑顔が湧いてきます。言葉も大切ですが、いつも笑顔でいるという事も、とても大切です。私はいつも、本誌オーナーの秋本さんの笑顔に癒されますもの。さあ、今日も笑顔で、参りましょう！

I'm glad to talk to you.

次は、頭のつむじは、なぜあるの？というお話です。



五番街代表 大倉 太喜生



hair design 五番街

TEL.0287-36-6811
那須塩原市太夫塚
6-232-213